


大和証券グループ本社  
取締役会長

鈴木 茂徳



大和証券グループ本社  
執行役社長 CEO

畑野 隆司

## ステークホルダーの皆様へ

大和証券グループの社会的使命は、金融・資本市場を通じて社会および経済の持続的発展に貢献していくことです。中期経営計画～“Passion for the Best” 2014～における2013年度の「成長(Growth)」フェーズから2014年度の「拡大(Expansion)」フェーズへの道程は、当社グループの使命を実現するマイルストーンとしても捉えられます。

現在、1,600兆円にもものぼる個人金融資産に「貯蓄から投資へ」の流れが起きつつあります。当社グループではこの流れを促進するために、新たな投資家層のすそ野拡大に注力しています。預金に偏った潤沢な資金を成長企業や公共部門へ供給することで、日本経済の活性化に資することを目指し、当社グループは成長の源泉である顧客基盤の拡大を図っていきます。

また当社グループでは、インパクト・インベストメント債券など、投資のリターンを期待しつつ社会的リターンも追求

する商品を組成・販売することにより、途上国の貧困削減や女性の地位向上などのグローバルな課題解決への参加機会を日本の投資家の皆様に提供しています。今後も、革新的な金融商品やサービスを提供することにより、投資を通じて社会問題の解決を図る取組みに注力していきます。

中期経営計画の最終年度となる2014年度では、顧客ベースの良質な収益の拡大により当社グループの持続的成長を目指すのみならず、経済の発展、ひいては持続可能な社会の形成に貢献していきたいと考えています。当社グループの企業価値のさらなる向上は、このように社会の「持続的成長」に貢献してこそ実現できるものと確信しています。役職員一同が情熱を持ち、誇りある未来へ向かって進んでいきます。

ステークホルダーの皆様には、より一層のご支援をよろしくお願いいたします。



2013年度の大和証券グループは業績を大きく伸長させましたが、これは経済環境の好転だけが要因ではなく、現在の中期経営計画の進捗、すなわち「外部環境に左右されない強靱な経営基盤の確立」への道のりが順調に進んだ結果であると捉えています。2014年度はいよいよ中期経営計画の最終年度です。当社グループは、「貯蓄から投資へ」の時代をリードすることを経営戦略の中核に据え、「拡大⇨持続的成長」という新たなステージへ進んでいきます。

大和証券グループでは、2012年4月にリテール部門とホールセール部門を担っていた証券子会社2社の統合により“新”大和証券が誕生するとともに、2014年度までの3カ年を対象とした中期経営計画をスタートさせました。この中期経営計画にもとづき「外部環境に左右されない強靱な経営基盤の構築」に注力してきましたが、特に2013年度は、中期経営計画2年目の「成長(Growth)」フェーズと位置付け、前年度の「再生(Turnaround)」フェーズにおける黒字転換の達成からさらに一段踏み込んだ成長戦略に取り組んできました。

2013年度の事業環境は、4月の日本銀行による「量的・質的金融緩和」の導入から好スタートを切り、株高・円安トレンドとなりました。国内株式市場はその後、国内外の情勢により不安定となる局面もみられましたが、アベノミクスによるデフレ脱却期待や、好調な米国経済もあって、売買代金は大きく増加しました。

こうしたなか、当社グループの純営業収益は5,419億円(前年度比29.9%増)、経常利益は1,970億円(前年度比2.1倍)、当期純利益は1,694億円(前年度比2.3倍)となりました。このうち当期純利益は24年ぶりに過去最高を記録し、経常利益は中期経営計画の最終年度の目標1,200億円を大きく上回る水準となりました。この好業績は単に市場の追い風だけによるものではなく、当社固有の要因が大きかったと捉えています。すなわち、アベノミクスによる市況の好転以前に“新”大和証券の体制構築を完了したうえで、コスト削減と平行して顧客ベースの良質な収益を積み上げたことにより、「強靱な経営基盤の確立」を着実に進めた成果にほかならないと考えています。この結果、中期経営計画で最も重視する指標(KPI)である固定費カバー率は52%となり、最終年度の目標50%以上を1年前倒しで達成することができました。

2014年度はいよいよ中期経営計画最終年度の「拡大(Expansion)」ステージへと移行します。2014年1月からはNISA(少額投資非課税制度)も開始され、「貯蓄から投資へ」のダイナミックな資金シフトを後押しする土壌も整ってきています。当社グループは、より良質な収益の拡大とその源泉となる顧客基盤の拡大を最重視し、持続的成長に向け国内外の全部門の総力を結集して進んでいきます。

大和証券グループ本社  
執行役社長 CEO

**日比野 隆司**

## 会長メッセージ



大和証券グループには、「信頼の構築」、「人材の重視」、「社会への貢献」、「健全な利益の確保」の4つからなる企業理念があります。この企業理念は、役職員が金融・資本市場の担い手としての誇りと誠実さを持って働くうえで、心に刻むべき精神や経営方針の根幹が示されており、行動の基礎となるものです。

この理念のもと、目先の利益追求だけに陥ることのない持続性の高い企業を目指して、コンプライアンス教育の徹底や高次元のワーク・ライフ・バランスの推進など、役職員全員が働きがいを感じる会社創りに尽力してきました。グループ全体に広がる一体感と信頼感、そして男女問わず高いロイヤルティとプロフェッショナリズムを持った役職員、それこそが当社グループの最大の競争力です。

長きにわたり停滞していた国内株式市場は、2012年12月の安倍政権の誕生以降大きな変化を遂げています。この変化は、当社グループの持続的成長に向けたビジネスチャンスであるとともに、本業を通じて持続可能な社会の実現に貢献する好機です。「貯蓄から投資へ」の時代の創成と加速を当社グループがリードするべく、お客様の資産形成において誰よりも頼れるパートナーとなることを全役職員の目標として、企業理念を軸とした経営努力を一層推進していきます。

大和証券グループ本社  
取締役会長

**鈴木 茂晴**